

平成 31 年度 数学科

教科	数学科	科目	数学A	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	新版 数学A (実教書籍)						
副教材等	アクセスノート 数学A (実教書籍)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
- ・授業ノートをつくりましょう。ノートには、先生が強調した部分や自分が解いたときに分からなかった部分に印をつけましょう。分からなかった部分は、もう一度自分で解いたり、後で先生に質問したり友達に聞いたりして理解しておきましょう。
- ・問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけではなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまづいたのかを知るための大切なものです。

2 学習の到達目標

1 年次でおこなった数学Aの復習をしながら、未習部分を補う。整数の性質、図形の性質の各単元について理解させ、基礎的な知識の習得を図り、具体的な事象を数学的に考察し処理するための能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a: 関心・意欲・態度	b: 数学的な見方や考え方	c: 数学的な技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	数学的活動を通して、整数の性質、図形の性質における考え方や体系に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	数学的活動を通して、整数の性質、図形の性質における数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考察するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考え、表現する。	数学的活動を通して、整数の性質、図形の性質において、事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の方法を身につけ、よりよく問題を解決する。	数学的活動を通して、整数の性質、図形の性質における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。
評 価 方 法	確認テスト ワークシート 観察等	確認テスト 定期テスト ワークシート 観察等	確認テスト 定期テスト ワークシート 観察等	確認テスト 定期テスト ワークシート 観察等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	内容	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1学期	1章 場合の数と確率	場合の数	集合の要素の個数	○		○		a: 集合の考え方に興味、関心をもち、それらを事象の考察に活用しようとする。 b: 集合の考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。 c: 実生活における様々な事象と集合との関連を考察し、課題を見つけ整理できる。 d: 集合の表し方とその意味を理解している。	確認テスト 定期テスト ワークシート 観察等
		確率	確率	○	○	○	○	a: 確率の考え方に関心をもち、その考え方をいろいろな事象の考察に活用しようとする。 b: 確率の基本性質や和事象・余事象の確率について、その意味と考え方のよさを認識できる。 c: 確率の基本性質や考え方をを用いて、くじ引きの確率など具体的な事象の確率を考察し、問題解決できる。 d: 確率について、基本的な概念、用語・記号などを理解し、身に付けている。	
2学期	2章 整数の性質	約数と倍数	約数と倍数 素因数分解	○		○	○	a: 整数の性質について理解を深め、それを事象の考察に活用しようとする。 b: 最大公約数と最小公倍数の性質や割り算の余りを利用した性質を用いている いろいろな事象を考察できる。 c: 素因数分解を用いた公約数や公倍数の求め方により、整数に関連した事象を論理的に考察し表現できる。 d: 素因数分解を用いた公約数や公倍数の求め方を理解している。	確認テスト 定期テスト ワークシート 観察等
			最大公約数と最小公倍数 整数の割り算と商および余り	○	○	○	○		
		互除法と不定方程式	互除法	○		○		a: 整数の性質に基づいて、互除法を理解し、2つの整数の最大公約数を求めようとする。 b: 二元一次不定方程式を、互除法を用いて解くことができる。 c: 簡単な場合について、二元一次不定方程式を解くことができる。 d: 互除法の考え方を理解している。	
			方程式の整数解			○	○		
3学期	図形の性質	三角形の性質	三角形と線分の比	○	○		○	a: 三角形の性質について関心をもち、その美しさを味わい、三角形を多面的にとらえ新しい性質を発見しようとする。 b: 三角形の五心について、作図し、その性質を考察できる。 c: 三角形の基本的な性質を活用し、辺の長さや比を求めたり、三角形の五心などを作図したりできる。 d: 内分、外分、三角形の辺と角の大きさについて理解し、いろいろな図形の性質を調べられる。	確認テスト 定期テスト ワークシート 観察等
			三角形の五心			○	○		
			メネラウスの定理・チェバの定理		○	○			

円の性質	円に内接する四角形	○	○		○	a: 円の性質について関心を持ち、その美しさを味わい、円を多面的にとらえ、新しい性質を発見しようとする。 b: 方べきの定理について、作図し、その性質を考察できる。 c: 円周角や弦と接線の作る角の性質を利用して角の大きさを求めることができる。 d: 円周角の性質や方べきの定理を理解し、身に付けている。	確認テスト 定期テスト ワークシート 観察等
	円の接線			○	○		
	方べきの定理		○		○		

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 数学的な見方や考え方
c: 数学的な技能 d: 知識・理解

※ 生徒の興味関心や取り組み状況により、順序と内容について一部変更を加えることがある。

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。